

第3回 調布飛行場整備検討会

前回の主な意見と対応

令和7年3月

前回検討会の主な意見と対応

- ・ 前回検討会での委員の主な意見と対応状況は以下のとおりである。

主な意見	対応状況
・ 人が集まるためにも公共交通を充実できないか。 ・ リニア中央新幹線開業以後は、中部、関西圏からも集客が可能となる。交通アクセスの変化が見込まれる視点からも考えていくことが大事ではないか。	交通事業者へインタビューを実施（資料1「インタビュー等結果②」）
・ 子供にとっても夢があるような施設にしていけると良いのではないか。 ・ 周辺の施設とシナジーがある施設を誘致していけないか。 ・ 立地地域の住民が、飛行場を含めた周辺地域を誇りに思うような取組を仕掛けていく工夫を行うべき。	資料2「各種施設の配置案等」にて、利用者利便施設の整備について記載
・ 東京都の地域防災計画では、広域的な観点からの調布飛行場の活用が謳われている。一方で、地元市の視点に立って必要な施設を考えることも大事になる。	資料2にて、災害対応施設整備について記載
・ 安全面を最優先とすることは欠かせない。	資料2にて、安全性の向上に関する取組について記載
・ 将来にわたって、航空の地域拠点としての機能を発揮できるよう、必要な駐機場スペースを確保することも求められる。	航空機使用事業者に追加のヒアリング調査を実施（資料2）
・ 飛行場を周辺から受け入れられるようにするためには、運用方法の検討も重要となる。次回の検討会では、地域の方の意見も伺って検討を積み重ねていきたい。	資料2にて、将来の運用の考え方について記載